

コード No. 11081

**Anti-Human  
VEGF (2E1) Mouse IgG MoAb**

容量 : 500 µg

はじめに : VEGF (Vascular Endothelial Growth Factor)は、ヒト下垂体前葉由来細胞株の培養上清から発見された、血管内皮細胞に特異性の高い増殖因子であり、同時に発見された VPF (Vascular Permeability Factor)と同一の因子であることが遺伝子解析の結果明らかになりました。タンパク質の三次構造の基本は、PDGF (Platelet Derived Growth Factor)と類似しており、PDGFファミリーの一員とされています。ヒト VEGF は、2つの同一ポリペプチドが、ジスルフィド結合によって連結したホモダイマーであり、スプライシングの違いにより4つのアイソフォームがあり、それぞれ 121 (VEGF121), 165 (VEGF165), 189 (VEGF189), 206 (VEGF206)個のアミノ酸より構成され、その中で VEGF165 が最もポピュラーに存在します。VEGF は、培養血管内皮細胞の増殖、遊走、プロテアーゼ活性の亢進、コラーゲンゲル内での血管様構造の形成など、血管新生のステップを促進し、*in vivo*でも血管新生や血管透過性を促進します。また、多くの腫瘍細胞から産生分泌され、そのレセプターは主に血管内皮細胞で発現していることから、腫瘍の血管新生との関連が考えられています。

免疫抗原 : Recombinant Human VEGF165 (*E.coli*)起源 : マウス×マウス ハイブリドーマ  
(X63 - Ag 8.653 × BALB/c マウス脾臓細胞)クローン名 : 2E1                      サブクラス : IgG<sub>2b</sub>

精製方法 : Protein A による特異精製

包装形態 : 1 % BSA, 0.05 % NaN<sub>3</sub> 含有 PBS 1.0 mL に溶解したものを凍結乾燥

再生方法 : 精製水 1.0 mL 添加 (この時濃度は 500 µg/mL となります)

保存方法及び安定性 : 2~8 °C 保存                      5年間安定  
溶解後 -20 °C 保存                      2年間安定使用目的及び : 免疫組織染色 約 1 µg/mL にて使用可能 (ブアンまたはホルマリン固定、パラフィン切片 (トリプシン前処理推奨)、 および 4%パラホルムアルデヒド固定凍結切片)  
: ウェスタン・ブロッティング 2~5 µg/mL にて使用可能文献 : 1. Hayashi T, Abe K, Suzuki H, Itoyama Y. Rapid induction of vascular endothelial growth factor gene expression after transient middle cerebral artery occlusion in rats. *Stroke*. 1997 Oct; 28(10): 2039-44.  
2. Torimura T, Sata M, Ueno T, Kin M, Tsuji R, Suzaku K, Hashimoto O, Sugawara H, Tanikawa K. Increased expression of vascular endothelial growth factor is associated with tumor progression in hepatocellular carcinoma. *Hum Pathol*. 1998 Sep; 29(9): 986-91.

コード No. 11081

**Anti-Human  
VEGF (2E1) Mouse IgG MoAb**

容量 : 50 µg

はじめに : VEGF (Vascular Endothelial Growth Factor)は、ヒト下垂体前葉由来細胞株の培養上清から発見された、血管内皮細胞に特異性の高い増殖因子であり、同時に発見された VPF (Vascular Permeability Factor)と同一の因子であることが遺伝子解析の結果明らかになりました。タンパク質の三次構造の基本は、PDGF (Platelet Derived Growth Factor)と類似しており、PDGFファミリーの一員とされています。ヒト VEGF は、2つの同一ポリペプチドが、ジスルフィド結合によって連結したホモダイマーであり、スプライシングの違いにより4つのアイソフォームがあり、それぞれ 121 (VEGF121), 165 (VEGF165), 189 (VEGF189), 206 (VEGF206)個のアミノ酸より構成され、その中で VEGF165 が最もポピュラーに存在します。VEGF は、培養血管内皮細胞の増殖、遊走、プロテアーゼ活性の亢進、コラーゲンゲル内での血管様構造の形成など、血管新生のステップを促進し、*in vivo*でも血管新生や血管透過性を促進します。また、多くの腫瘍細胞から産生分泌され、そのレセプターは主に血管内皮細胞で発現していることから、腫瘍の血管新生との関連が考えられています。

免疫抗原 : Recombinant Human VEGF165 (*E.coli*)起源 : マウス×マウス ハイブリドーマ  
(X63 - Ag 8.653 × BALB/c マウス脾臓細胞)クローン名 : 2E1                      サブクラス : IgG<sub>2b</sub>

精製方法 : Protein A による特異精製

包装形態 : 1 % BSA, 0.05 % NaN<sub>3</sub> 含有 PBS 0.1 mL に溶解したものを凍結乾燥

再生方法 : 精製水 0.1 mL 添加 (この時濃度は 500 µg/mL となります)

保存方法及び安定性 : 2~8 °C 保存                      5年間安定  
溶解後 -20 °C 保存                      2年間安定使用目的及び : 免疫組織染色 約 1 µg/mL にて使用可能 (ブアンまたはホルマリン固定、パラフィン切片 (トリプシン前処理推奨)、 および 4%パラホルムアルデヒド固定凍結切片)  
: ウェスタン・ブロッティング 2~5 µg/mL にて使用可能文献 : 1. Hayashi T, Abe K, Suzuki H, Itoyama Y. Rapid induction of vascular endothelial growth factor gene expression after transient middle cerebral artery occlusion in rats. *Stroke*. 1997 Oct; 28(10): 2039-44.  
2. Torimura T, Sata M, Ueno T, Kin M, Tsuji R, Suzaku K, Hashimoto O, Sugawara H, Tanikawa K. Increased expression of vascular endothelial growth factor is associated with tumor progression in hepatocellular carcinoma. *Hum Pathol*. 1998 Sep; 29(9): 986-91.